

# 確かな学力の育成に係る実践的調査研究

【趣旨】

平成22年度概算査定額 204,301千円（前年度予算額 314,897千円）

○すべての子どもたちに必要な学力を身に付けさせることは公教育の重要な責務である。本事業においては、子どもたちに必要とされる学力を育成するため、実践的な調査研究を実施する。また、その成果について検証を行い、モデルケースを普及することを通じて、確かな学力の育成に資する。

## 21年度

学力向上実践研究推進事業

環境教育推進グリーンプラン

学力調査活用アクションプラン推進事業

学校図書館の活性化推進総合事業

確かな学力の育成に資する事業をそれぞれ実施しているため、成果の共有がされにくい。



もっと学校や地域の実情に応じたテーマで、確かな学力の育成にかかる取組を行えないか？

メニュー化

## 22年度

### 【事業概要】

確かな学力の育成に資する取組について、様々なテーマによるメニューを設定し、学校設置者等が学校や地域の実情等に応じたテーマを選択して調査研究を実施する。その先導的な取組事例を収集し、成果の普及を図ることを通じて、国として教育委員会や学校の取組を支援する。

### 【研究テーマ例】

○教育委員会や学校における調査研究<都道府県等>

- ・新学習指導要領の円滑な実施に向けた教材開発、指導方法についての調査研究
- ・環境教育に関する取組を活用した調査研究
- ・学校図書館の有効な活用方法に関する調査研究
- ・全国学力・学習状況調査の結果を活用した調査研究

○NPO法人等学校以外の組織における調査研究

- ・わかりやすく魅力的な授業の在り方や指導方法を構築するための調査研究

研究成果の検証、好事例の普及



確かな学力の育成